

平成 26 年度愛知県生涯学習推進計画における主要な事業
の進捗状況について

〈① 長寿社会を豊かに生きる生涯学習〉

健康増進活動支援事業費（あいち健康マイレージ事業） 1,578千円

「健康日本21あいち新計画」に基づき、県民の健康寿命をさらに延伸させるため、県民が健康づくりに取り組むことでマイレージ（ポイント）を獲得し、一定以上のマイレージ獲得者には「優待カード」を交付する。（「優待カード」は県内の協力店で提示することにより、様々なサービス（特典）を受けることができる。）

（健康づくりの取組例）

毎日 8,000 歩以上歩く。各種健診（特定健診、がん検診等）を受診する。
健康講座や地域での活動に参加する。

（特典の例）

お買物金額から〇%OFF、買物ポイント2倍、ドリンク一杯サービス

事業の進捗状況

平成 26 年 9 月から県と市町村の協働事業として「あいち健康マイレージ事業」をスタートした。

1 説明会の開催

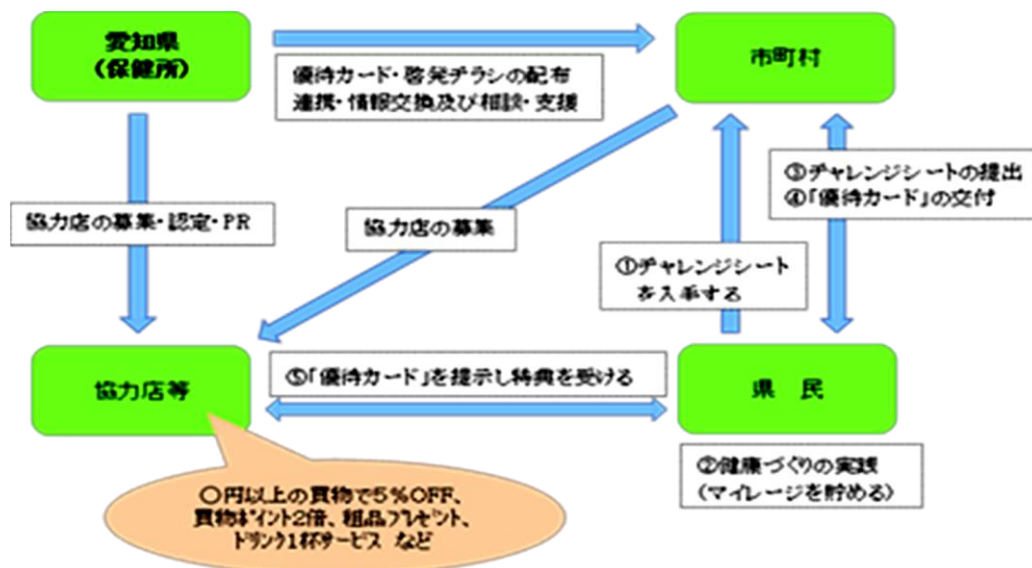
平成 26 年 4 月 21 日（月）に市町村へ事業説明を実施した。早期に全市町村でマイレージ事業が実施されるよう調整中

2 協働実施市町村

平成 26 年 9 月から あま市・尾張旭市・蒲郡市・田原市
※今年度は 10 市町村で実施予定
※平成 27 年度から新たに約 20 市町村で実施予定

3 協力店への登録依頼

県内の企業・店舗・施設、経済団体等へ協力店への登録働きかけを実施



〈① 長寿社会を豊かに生きる生涯学習〉

大学・企業と連携したスポーツ推進事業費

5,678千円

大学・企業が有するスポーツ資源（人材、施設）を地域スポーツの推進に効果的に活用し、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化を図る。

事業の進捗状況

○地域コミュニティ活性化プロジェクトⅠ

トップアスリート、競技団体、企業と連携したスポーツイベントの開催

種 目	内 容	対象者	人 数	連携企業等
トップアスリートによるスポーツクリニック	バスケットボールクリニック	小学生	81人	アイシン精機株式会社
	フットサルクリニック	小学生	100人	名古屋オーシャンズ株式会社
子どもから高齢者を対象としたニュースポーツ体験	ラダーゲッター、ディスクゲッター、ニチレクボールなど	地 域 住 民	136人 200人	県レクリエーション協会
障害者スポーツ体験	車椅子バスケットボール体験	"	40人	東海北陸車椅子バスケットボール連盟
			40人	
健康講座	栄養に関する講座	"	51人	東海学園大学
			50人	椋山女学園大学

上段：岡崎中央総合公園総合体育館でH26.8.9（土）に開催

下段：一宮市総合体育館でH27.2.11（水・祝）に開催予定

○地域コミュニティ活性化プロジェクトⅡ

東海学園大学、愛知淑徳大学及び南山大学と連携した地域コミュニティの活性化

【東海学園大学連携事業】

プログラム		対 象	開 催 期 間
1	公園体操	中高年者 30名	9/26（金）～12/12（金）全9回
2	ポールウォーキング倶楽部	中高年者 40名	10/7（火）～12/16（火）全11回
3	グラウンドゴルフ倶楽部	中高年者 40名	10/1（水）～12/17（水）全12回
4	大学祭・健康運動教室	中高年者 50名	10/25（土）
5	大学祭・サッカースクール	小学生以下 100名	10/25（土）午前・午後
6	実践スポーツ心理学講座	高校生 10名	10/4（土）
7	速く泳ぐためには	小中学生 15名	10/25（土）午前・午後
8	iPadを活用したスポーツ指導	小中高教員 10名	11/15（土）

【愛知県淑徳大学・南山大学】

プログラム		対 象	開 催 期 間
1	体力測定	中高年者 30名 1から8の講座を続けて受講します。	10/7（火）
2	健康体操教室		10/14（火）
3	ポールウォーキング教室		10/21（水）
4	健康ウォーキング教室		10/28（土）
5	スポーツを科学的に見てみよう		11/11（土）
6	中高年者の筋力トレーニング		11/18（火）
7	中高年者の健康の秘訣		11/25（火）
8	体力テスト		12/2（火）
9	小学校スナッグゴルフ教室		小学生 20名

〈② 家庭と地域の教育力を高める生涯学習〉

あいっ子「親の育ち」応援事業費

774千円

地域の家庭教育を担う人材の養成及びその人材を活用した学習機会の提供等を行うとともに、子育てに対する理解の促進や親の育ちを応援した家庭の教育力の向上を図る。

事業の進捗状況

○「親の育ち」家庭教育支援者養成事業

「あいっ子『親の学び』学習プログラム」を活用した講座「『親の育ち』家庭教育研修会」の講師を養成するために、家庭教育や子育て支援の基礎を学ぶ講座を6～7月にかけて、尾張（39名参加）と三河（22名参加）の2会場で実施した。

【尾張会場（愛知県生涯学習推進センター）】

6/11（水）	（午前）	「親も子も輝くヒケツ」～ノリが合うって楽しい～
	（午後）	「家庭教育支援の概要」
6/16（月）	（午前）	「グループワークを活用した子育て支援のあり方」
	（午後）	「児童期・青年期の子どもの特徴と保護者への支援」
6/25（水）	（午前）	「子育てネットワークの活動と課題」
	（午後）	「子どもと楽しむ室内遊び・工作」
7/2（水）	（午前）	「家庭教育支援の現状と課題」
	（午後）	「『親の学び』学習プログラムを活用した活動」

※三河会場は、西三河総合庁舎で6月12日から7月3日に上記と同内容で実施

○「親の育ち」家庭教育研修会推進事業

市町村の家庭教育講座、子育てサークル、幼稚園、保育所・小中学校等に上記事業で養成した家庭教育支援者等を講師として派遣し、研修会を実施している。

平成26年7月末現在：36件（申し込み件数、予定は年50件）

〈③ 持続可能な社会づくりを進める生涯学習〉

持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議支援事業費 289,350千円

ユネスコ及び日本政府の主催で開催される「ESDに関するユネスコ世界会議」の会議支援及び関連事業等を実施する。

主 催	ユネスコ、日本政府
開催場所	名古屋国際会議場
開催期間	平成26年11月10日～12日（閣僚級会合、全体会合等） 平成26年11月13日（フォローアップ会合）
参加規模	国内外の閣僚、政府関係者など約1,000人を含む数千人規模を想定

事業の進捗状況

1 会議支援

主催者であるユネスコや日本政府、地元関係機関などと連携・協力しながら、万全の体制で支援する。

- 安全・安心の確保（警備協力、救急対応等）
- 円滑な会議運営（宿泊支援等）
- 快適なサービスの提供（輸送支援、交通案内等）

2 あいち・なごやの魅力発信

世界会議を契機として、地域の多様な魅力を世界の人々に体感していただくとともに、国内外に向けて積極的に発信する。

- おもてなし（公式歓迎行事、歓迎装飾、ボランティア、エクスカージョン等）
- 地元情報の提供

3 ESDの普及啓発

（1）開催半年前イベントの実施

世界会議の開催機運の盛り上げと、ESDの普及啓発のため、誰もが楽しみながらESDを学べるイベントを県内3か所で開催した。

5月11日（日） 愛・地球博記念公園

5月17日（土） 穂の国とよはし 芸術劇場プラット

6月7日（土）、8日（日） オアシス21 銀河の広場

(2) 展示会等への出展

メッセナゴヤ、ワールド・コラボ・フェスタを始め、県内各地のイベント等に出展し、世界会議及びESDのPRを行う。

(3) 広報ツールによる普及啓発

新聞広告、ポスター等各種啓発資材、ウェブサイトを活用するとともに、県内の多様な主体とも連携しながら、世界会議の開催やESDについて広く周知する。

4 ESDの取組推進

(1) あいちESDシンポジウムの開催[県事業]

県全体でESDの取組を促進するため、市町村と多様な主体が連携したESD関連事業の紹介と人づくりをテーマとした講演等により、持続可能な地域づくりとその担い手づくりを考えるシンポジウムを開催した。(8月1日(金)ウインクあいち)

(2) あいち・なごやのESD交流・発信の場(併催イベント)

世界会議の開催に併せ、ESDに取り組む多様な主体が集い、交流し、発信する地元併催イベントを開催する。(11月、名古屋市内(栄地区・白鳥地区))

(3) ESDあいち・なごや子ども会議

世界会議の開催に併せて、県内の子どもたちが中心となり、持続可能な社会づくりについて学び、話し合う子ども会議を7月5日から実施中。現地学習(7~8月)、グループ討議(9~10月)を経て、11月10日に全体会議を開催する予定。

〈④ 職業的自立を高める生涯学習〉

技能五輪・アビリンピックあいち大会開催費

480,583千円

平成26年11月に県内8市14会場において「技能五輪・アビリンピックあいち大会2014（第52回技能五輪全国大会・第35回全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック）」を開催する。

	技能五輪全国大会	全国アビリンピック
競技日程	平成26年11月28日～12月1日	平成26年11月21日～23日
競技会場	名古屋市中小企業振興会館他	名古屋市国際展示場
競技職種	機械組立て、旋盤等41職種	機械CAD、パソコン組立等24種目
参加者数	約3,000人（役員・関係者含む）	約1,500人（役員・関係者含む）
来場者数	18万人以上（目標）	両大会併せての延べ人数

事業の進捗状況

実施計画に基づく競技会場及び式典会場の設営・運営や出場選手の移動・宿泊の支援、大会の広報啓発、選手の育成・強化など大会開催準備を進めている。

1 大会の広報啓発

(1) カウントダウンイベントの実施

会場となる8市が参加して、9月6日（土）及び7日（日）にオアシス21においてカウントダウンイベントを開催した。

(2) 学校向け団体見学・高校生競技解説ガイドの実施

子どもたちが優れた技術・技能に触れ、モノづくりの面白さや大切さを実感し、「働く」ことについて考える機会として大会を活用するため、学校向け団体見学を募集するとともに、競技の概要や見所などを解説する高校生ガイドの養成を行っている。

(3) 「アイチータ」の活用

大会イメージキャラクター「アイチータ」を活用し、大会の周知を図っている。

2 選手の育成・強化

(1) 合同公開練習会の開催

出場選手による合同公開練習会を7月30日（水）及び31日（木）に名古屋市中小企業振興会館にて開催した。

(2) 選手育成への支援

大会出場を目指す選手の技能向上訓練を行う中小企業や学校などに対して、訓練経費の一部を助成している。

〈⑤ 生涯学習推進体制づくり〉

大学と連携した社会教育担当者研修会費

171千円

社会教育の最前線で活動する公民館主事等の社会教育担当職員に対して、名古屋大学と連携しながら、体系的・実践的な講座を継続して提供し、職員の資質向上を図る。

事業の進捗状況

○高度で専門的な知識・技能の向上を図る研修

実施日	研修内容
6月5日	名古屋大学 松田武雄教授、丹間康仁（特別研究員） 講義（1）「社会教育と生涯学習を学ぶ」
6月12日	名古屋大学 松田武雄教授 講義（2）「公民館の理論、歴史、実践」
7月3日	名古屋大学 松田武雄教授、丹間康仁（特別研究員） 「実践報告、討議」（豊田市、東浦町）
7月17日	名古屋大学 松田武雄教授、丹間康仁（特別研究員） 「実践報告、討議」（安城市、蟹江町）
9月11日	名古屋大学 松田武雄教授、丹間康仁（特別研究員） 「実践報告、討議」（春日井市）、振り返り
8月27日、28日	松本市公民館と地域づくりのフィールドワーク

○基礎的・基本的な知識・技能の養成を図る研修

実施日	研修内容
9月4日	午前 名古屋大学 松田武雄 教授 講 義「社会教育・生涯学習の歴史と今」
	午後 岡山市立中央公民館 重森しおり 氏 実践報告「公民館でのESD～岡山市の取り組みから～」
9月24日	午前 田原市泉市民館 中村八重美 氏 実践報告「子どもから始まる防災学習」
	午後 名古屋大学減災連携研究センター 福和伸夫 教授 講義及び施設見学「地域協働で災害を克服する」
10月6日	午前 岐阜大学総合情報メディアセンター 益川浩一 准教授 講 義「社会教育・生涯学習事業の企画・立案について」
	午後 岐阜大学総合情報メディアセンター 益川浩一 准教授 グループワーク
10月20日	午前 愛知県教育委員会生涯学習課 山本武志 講 義「学校を核とした社会教育と行政・公民館の役割」
	午後 愛知県教育委員会生涯学習課 山崎喜一 グループワーク
11月13日	午前 名古屋大学 松田武雄 教授 講 義「社会教育と地域と福祉のエンパワーメント」